

有限会社藤本米穀店 行動計画

社員がライフステージに合わせた働き方ができる環境づくりや社員のキャリアアップを推進するとともに、機器の導入により作業を効率化することによって、女性社員がより幅広い業務に取り組めるようにし、女性の感性や発想を取り入れた魅力的な商品が提供できるよう、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 2018年7月1日から2021年6月30日までの3年間

2. 当社の課題

- ① 個人の知識・能力を高めるための取り組みを行っていない。
- ② 生産性が上がらない製造の単純作業に時間を費やしており、業務の幅が広がらず、特に女性スタッフの能力を活かせていない。
- ③ 男性社員の勤続年数に比べ、女性社員の勤続年数が短い。
- ④ 業務の偏りによる所定時間外労働が発生している。

3. 目標と取組内容・実施時期

・目標1：女性スタッフのキャリアアップを促進し、1名を営業職へ登用する。

<取組内容>

●2018年7月～ キャリアアップ制度の検討、整備、策定

※取得を目指す資格の内容は「ごはんソムリエ」「雑穀エキスパート」「食育アドバイザー」など当社の業務に関連し、キャリアアップに繋がるものであると判断されるものとする。

●2018年9月～ キャリアアップ制度の周知、実施

※資格取得後の活用方法についても事前に検討することとする。

●2019年11月～ 女性スタッフ1名を営業職へ登用

・目標2：社員全体の所定外労働時間を月平均20時間以内とし、年次有給休暇の取得日数を1人当たり3日以上増加させる。

<取組内容>

●2018年8月～ 労働時間の短縮に向けた課題等を把握するための職場点検と社

員の意向調査や意見交換を行う。

- 2018年9月～ 複数スタッフによるフォロー体制を構築するための業務や人員配置の見直しを行う。

・目標3：女性が働きやすい職場環境を整備し、営業職の女性の採用数を1名以上増加させ、営業職の採用者の女性比率を30%以上にする。

<取組内容>

- 2018年9月～ 働きやすい環境を作るために既存業務の生産性を向上させる。納品のための小袋商品製造における既存業務における負担軽減のため、使いやすい設備、器具、備品の導入を検討（卓上自動計量機、作業台、台車、など）。
※現在、特に近年増加傾向にある300g～2kg程度の少量パックの大量注文があった際に、計量、封入、梱包の作業に時間を大きく取られている。
- 2018年9月～ 女性が営業職で能力を発揮するために新たな挑戦ができる環境を作り出す。
既存アイテムを発展させ新たな営業ツールを生み出すため、女性の観点・発想を活かした商品づくりができるよう設備、器具、備品の改善・導入を検討。（真空パック、贈答関係、商品製作にかかるソフト、など）
- 2018年10月～ 検討内容の実施
- 2019年8月～ 女性スタッフ1名新規採用